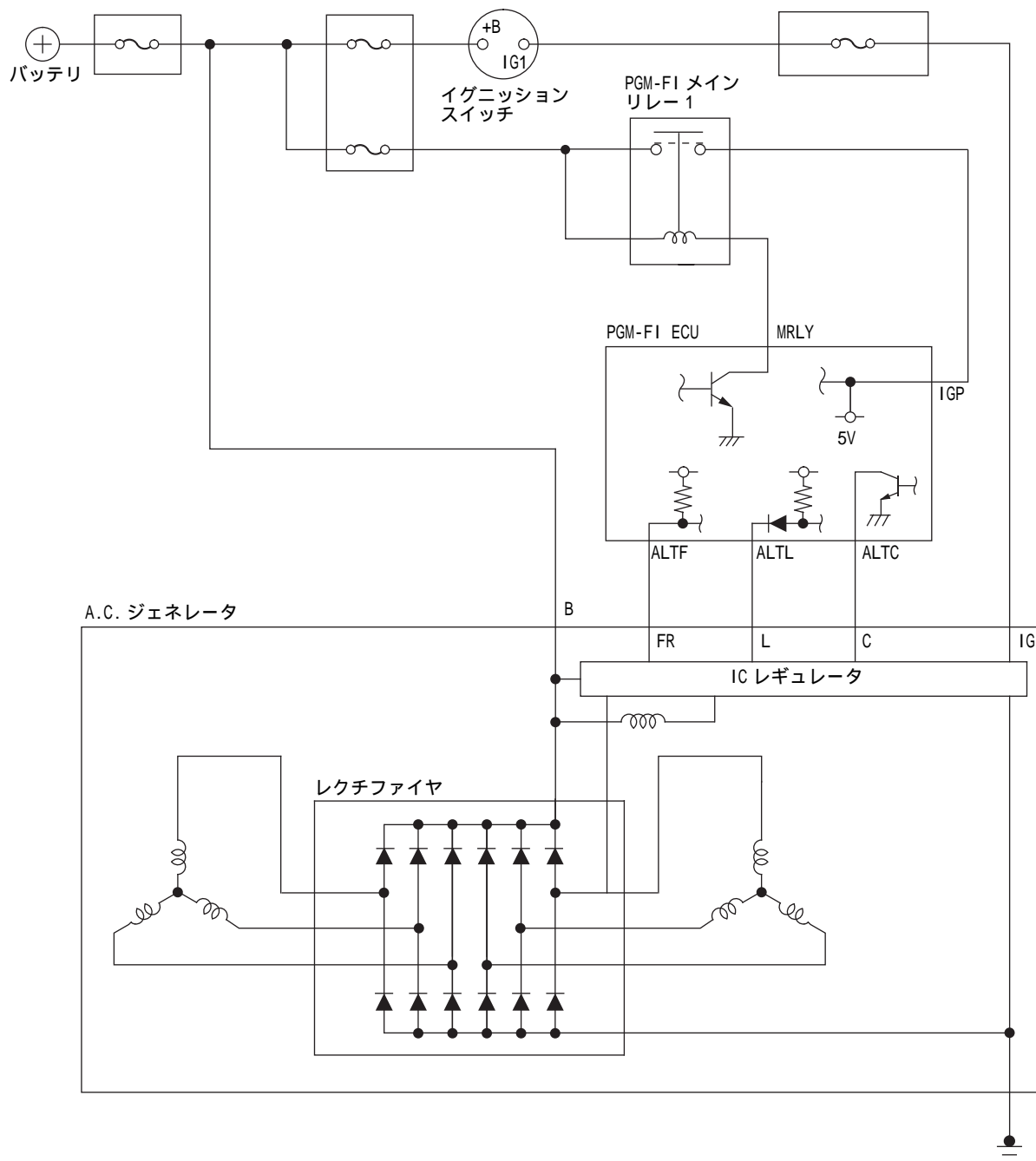


DTC 解説

DTC P0562: 充電装置電圧低い

検知原理解説



01_P0562C_TF0B00

DTC 解説

A.C. ジェネレータは、ドライブ ベルトを介してエンジン出力の一部を電力に変換し、電装部品への電力供給やバッテリー充電を行う。
A.C. ジェネレータの目標発電電圧である 14.5V および 12.5V は、PGM-FI ECU の A.C. ジェネレータ コントロール モードによって切換え制御される。
A.C. ジェネレータは、バッテリーの充電状態、車両の電氣的負荷、およびエンジン回転数によって変動する発電状況を A.C. ジェネレータ出力信号として PGM-FI ECU に送信している。
PGM-FI ECU の電源供給端子電圧が規定値以下の状態で所定時間以上継続した場合、PGM-FI ECU は故障と判定し、DTC をストアする。

検知頻度・検知順序・検知所要時間・検知手法種別・ OBD ステータス

検知頻度	常時
(当該 DTC の) 検知順序	なし
検知所要時間	60 秒間以上
検知手法種別	1D/C(単一検知手法)、PGM-FI 警告灯： 消灯
OBD ステータス	正常判定、故障判定、未完了

D/C: Drive Cycle(ドライブ サイクル)

検知実行条件

条件項目	下限	上限
エンジン回転数 [エンジン回転]	500rpm	

[]: HDS パラメータ

故障判定基準

PGM-FI ECU の IGP 端子電圧が 11.0V 以下の状態で 60 秒間以上継続した場合。

推定故障部位

- ・ A.C. ジェネレータの故障
- ・ A.C. ジェネレータのカブラ外れ
- ・ イグニッション スイッチと A.C. ジェネレータ間コードの断線
- ・ A.C. ジェネレータ側の B 端子カブラ外れ
- ・ ヒューズ側の B 端子カブラ外れ
- ・ PGM-FI ECU 内部回路の故障

再現テスト手法

HDS を使用する方法

なし。

実際の代表的テスト走行による方法

1. エンジンを始動する。
2. 次の条件でテストを行う：
 - ・ エア コンディショナ作動
 - ・ 最低設定温度
 - ・ ブロア ファン風量最強
 - ・ リヤ デフロスタ作動
 - ・ ヘッドライト ハイビーム点灯
3. エンジン回転数 [エンジン回転] 2,000rpm で 1 分間以上保持する。

DTC 解説

DTC のストアとクリア

DTC のストア

車両が故障と判定した場合、PGM-FI 警告灯が点灯することなく、PGM-FI ECU メモリにテンポラリ DTC、DTC およびフリーズ データがストアされる。

DTC のクリア

スキャン ツール (HDS を含む) のクリア コマンドの使用、もしくはバッテリー端子の取外しによりテンポラリ DTC、DTC およびフリーズ データがクリアされる。